

発行：社会福祉法人
根室市社会福祉協議会
(生活支援体制整備事業)

〒087-0008

根室市有磯町2-6

☎ 24-0381

FAX 24-0551

会報掲載が親睦と交流に 昭和第三町会ふれ愛サロン 「脳トレ句会の集い」開催



根室俳句会
前田瑞枝さん

合い言葉は
4月
少しだけ
おせっかい



昭和第三町会(西館一会长・213世帯)は3月26日(日)、昭全協センターを会場に『昭和第三町会ふれ愛サロン 脳トレ句会の集い』を初めて開催しました。当日は都合により2名が欠席し15名が参加。講師を務めた根室俳句会の前田瑞枝さんから、俳句の作り方や季語の役割について学びました。

同町会は、昨年2月に“俳句おじさん”こと斉藤国男さんが高齢者の見守りボランティアとして、俳句・短歌・川柳の募集と訪問回収を始めたのがきっかけで、町会報の3月号より回収した句の紙上掲載がスタート。『脳トレ句会の集い』は、同年10月末に根室市外へ転出した斉藤さんの想いを受けて、句の作り方を学び歌った思いや苦労話を発表する場として企画されたものです。



講師の前田さんは、会報に掲載された句を一つひとつ丁寧に解説した後、「俳句は一人で作っていると独りよがりになるので、こうした集まり等で他の人の意見が聞けると良い。第三者にも分かるのかを考えて作ることを心がけて。」とアドバイスしました。

また、集いの終わりに、紙上交流の継続や年2~3回の句会開催を目的とした『昭三(しょうさん)脳トレ句会』の設立が発表され、会長1名、副会長2名、事務局長1名を選任しました。閉会にあたり、昭三脳トレ句会の会長に就任した西田昌美さんは「総会等は行わず、年2~3回の句会をワイワイガヤガヤ楽しく開きたい」と挨拶し終了となりました。

